

令和元年十月二十三日 信者心の道勉強会

神 示

今日は代神 大山祇命の側近の神として

心正しく「信者の道」ゆく人々の心を導き守っている
皆に問う

信者の道とは何か――

「教え」を学び 祈願重ねて

「真実の愛」に生きる人を目指す

人間は 欲心に心のまれ 実体を下げ 悩み 苦しむ

―― 「教え」を学び 「人生の真理」を知ること

「道」 欠く心の動きを祈願で正す――

この悟りが

「真実の愛」を探求し 社会に奉仕する人を育てる

「教え」は真理

人間 誰もが学び 身に付けるべき

「人たる人の心」を教えている

「真理」を人生の支えに生きるなら

人間 人は皆 全ての出会いに感謝の思いを深め
互いに運命を重ね 支える心が芽吹く

「人たる人の心」に

人間は 「愛」と「信頼」を共有し

調和に「生きる」人を目指す

この心の姿を 「真実の愛」に生きる人という
人類は 「真実の愛」の姿に気付いて

神の手の中 救われてゆく